

ビジネスプレゼンテーション／サイバープレゼンテーション 評価基準

評価項目・評価基準	重要度	Cレベル（改善が必要）	Bレベル（もう少し努力）	Aレベル（目標達成）	Sレベル（すばらしい）
プレゼンテーションソフトウェアの基本操作	10%	ソフトウェアの基本操作を把握していない	ソフトウェアの基本操作はほぼ把握しているが、プレゼンテーションへの応用が困難	プレゼンテーションに必要な操作はほぼ把握し、使用できる	プレゼンテーションに必要な操作はほぼ把握し、使用できる。 また、問題が起きた時に自分で対応できる。
「説得のコミュニケーション」における論理的思考能力	25%	論理的思考による説得のコミュニケーションが成立していない	論理的思考にもとづいた展開を意識しているが十分に反映できていない	論理的思考にもとづいた説得のコミュニケーションが成立している	論理的思考にもとづいた説得のコミュニケーションが成立し、効果的なプレゼンテーションを実施できる
プレゼンテーション制作を通しての企画立案および実施能力	25%	プレゼンテーションの企画ができない	プレゼンテーションの企画はできるが、企画通りに実施できない	プレゼンテーションを企画に沿って組み立てることができる	効果的なコミュニケーションを十分に理解した上で、プレゼンテーションの企画に反映し、確実に実施できる。
情報デリバリー（フィジカル要素およびビジュアル要素）の能力	20%	情報デリバリーを理解していない	情報デリバリーを理解はしているが十分に実施できていない	情報デリバリーを意識したプレゼンテーションを実施できる	プレゼンテーションの随所で、聞き手の理解につながるような情報デリバリーの技術を効果的に利用できている
個別指導段階における積極性とディスカッション能力	20%	積極的に指導を受ける姿勢が見られず、ディスカッションが成り立たない	ある程度のディスカッションはできるが、指導を受けるための積極性があまりみられない	十分な積極性が見られ、指導内容を十分に理解した上で実践できる	十分な積極性が見られ、指導内容に対して自分の意見も述べながら効果的なディスカッションができる